

坂本キャンパス

活躍する先輩方が多いのが嬉しい!

充実の医学書販売

他の長大生協に比べ、書籍コーナーが全体の半分近くの広さを占める医学部店。医学書は、どれも値が張るから、生協の1割引きは大助かりなんですね。みんなが買う解剖学英単語集「単シリーズ」は、「脳単」や「臓単」など、びっくりのネーミング。

6



ツンベリー花壇

ポンペに先立ち、長崎に西洋医学を伝えた医学者ツンベリーの名を冠した花壇。おしゃれな洋花の多い一画です。

私は地元だけど
県外からの学生も
たくさんいます。



ポンペのレリーフ

ポンペの言葉がドイツ語で刻まれたレリーフ。なぜか鼻だけがピカピカ。まさか、頬掛けで撫でているんじゃ……。

ゲストハウス。多くの被災者の救護活動が行われたグビロが丘。本家(?)長崎さるくでも、この坂本キャンパスに入り被爆の実相を学ぶコースがあります。さるくガイドに連れられた修学旅行生も訪れます。大学病院を併設する坂本キャンパスは、ここ数年かけて全体のリニューアルが進行中。病棟からシステムまで日々、進化しています。

ここは、学生にとっても大切な実習の現場なのですが、実は患者さんや病院関係者と学生の動線は分けられています。「出入り口も違うし、この病院の中に講義室が二つもあるように見えないでしょ?」と小笠さん。教育の場である大学と治療の場である病院が、うまく共存しているんですね。

自作のソフトクリーム

中村さんと榎本くんのベテランさるぐ隊員が、食堂の片隅に他のキャンパスにはないもの発見! セルフできるソフトクリームマシン、1回150円です。固形アイスをセットするもので、医学部ガールズがさっそく挑戦。「最初にシール剥がすのを忘れた!」「ぐるぐる回すのが微妙に難しい!」と大はしゃぎ。

石橋麗雅さん



5

Cho-dai SaRuKu

キャンパスと街をもっと知ろう

そして誰かを案内しよう

長崎大学さるくプロジェクト「最終回」

外からはなかなか見てこない大学内部の面白いポイントと、

周辺の街を学生目線でウォッチングする「長大さるく」。

最終回は坂本キャンパス①②と浦上周辺。

ナビゲーターは、初回から登場の経済学部学生2人と医学部学生の3人です。



災害用自販機

災害時には、切り替え操作で無料で使用できる飲料自販機。今年2月に4台導入され、病院内に設置されています。



4

ドクターカー

長崎県初、救急現場に医師も同乗して急行するドクターカー「龍馬」の運用が5月に開始されました。救急医療に必要な機器や薬剤も積み込まれており、脳血管障害など、時間が勝負の救急現場での素早い処置が可能になりました。



3

すかいらうんじほんぺ

「うわあ、眺め抜群!」「ココウォークの観覧車まで見える!」。こちらのお店は、お見舞客や病院スタッフにお馴染みですが、今回の学生は全員初めて。トルコライス(750円)やランチの他、朝の街を見下ろしながらのモーニングセット(450円)もおすすめです。上がるエレベーターは8号機のみなので要注意。営9時~18時(土日祝12時~17時)

1



2

保健学科の校舎は上りのきつい坂の上。そこで3基のエレベーターとブリッジでラクに行けるように改善する計画もあるんだそう。

病棟1階の長い廊下を利用して絵や写真を展示了ギャラリー。医学部写真部の学生の作品もあり、入院患者さんにも好評です。

ボ

ンペ会館、すかいらうんじほんぺ、病院広報誌「ボンペだより」、そして医学同窓会冊子「朋百」——。坂本キャンパスを歩いていると、やたら目につく「ボンペ」の文字。この興味深いのは、その彼の言葉が今も教員から学生に語り継がれています。

医学の歴史の源。一五〇年以前、日本で西洋医学の礎を築いた医師にして教師なのです。

俺らにも意地がありますからねー!





【強化練】

スポーツ系サークル活動の「強化練習」の略。「それはもう、鬼畜な日々です!」と学生も声を漏れる。特に医学部サークルの強化練は厳しいことで有名。

【アフター】

サークルの練習を終えて、外食すること。先輩が後輩に声をかけるので、必然的に先輩のおごりであることが多い。「あー、今日はキツかった、おい、アフター行こうぜ」。

【出禁】

「出入り禁止」の略。どこの出入りか?といえど、飲食店。コンパで大騒ぎしたり、粗相したためて出禁を言い渡されるケースが、ごく、たまに、あり。

【秘書さん】

教授の担当事務職の総称。忙しい教授に代わってスケジュール管理などをしているため、学生も接点が多い。

【ムラージュ】

附属図書館医学分館の2階にある、明治期に作られた蠣製の皮膚疾患模型。初めて見る人はドッキリするが、休憩スペースなので医学生成はみなここでケータイ電話をかける。「もう慣れました!」。



フルーツいわなが E

一見、外国のカフェのよう。果物や塩バナナチップスなど珍しい食料品販売のほか、イートインで生ジユース(250円~)もいただけます。夏はなんといってもスイカ!「産地は長崎から始まり北海道までゆっくり北上して、味の違いが楽しめますよ」とご主人。日向夏など柑橘類を贅沢に使った寒天(380円~)も、食物繊維たっぷりで喉越しの良さが自慢。果物屋さんの強みを生かした展開ですね。

☎095-844-4311 日曜定休
営9時~19時(カフェ10時~18時)



D 天主公園の壁に長崎の鐘♪

浦上天主堂のアンゼラスの鐘の音が聴こえる目の前の天主公園。壁には、名曲「長崎の鐘」の楽譜が描かれています。



謎のレンガ階段 C

レンガ造りの味のある階段は、上がってみてもどん詰まり。なぜそこにあるのか不明の、謎の階段です。



珈琲家 B

「僕も先輩から連れて来られて、今は後輩に紹介したり。医学部生の常連はすごく多いです」と小篠くん大ブッシュ。頂上にじゃがいもゴロリのボリュームカツカレー(これで870円!)ほか、カレードリアなど個性派カレーが看板メニュー。創業37年、不思議と落ち着ける老舗カフェです。 ☎095-847-9304
営10時半~22時 日曜定休 P2台



よ

く学び、よく遊べ。坂本キヤンパスの学生たちを見ているとそんな言葉がよぎるほど、みんな実に学生生活を謳歌しています。

特に医学部は、ほとんどの学生がスポーツ系サークルに属しており、練習や飲み会もかなり活発で、周辺地域にはお馴染みの店がたくさん。「新年度になると、新入生の勧誘のためにみんなお金を出し合ってお店に誘うこともあります」と志方さん。それだけ熱心にやれば体も鍛えられてハードワークに耐えられる?

「それもあるでしょうが……実はサークルの先輩の存在って必要不可欠なんです。他の学部より試験が多いので」と意味深発言。「この試験はココが絶対出る」「あの先生のクセは……」なんて情報は、サークルごとに伝授されるとか。伝統的にタテの繋がりが強いのは、必然なんですね。原爆資料館や浦上天主堂などもあり、観光客が多いエリア。中には「修学旅行のとき、この辺りは歩きました。まさか大学生として通うことになるとは」という学生もいるようです。

榎本英樹くん

平和町から浜口、岩川町まで学生御用達の店が勢揃い

浦上界隈

ガレージ酒場

医学部生が「コンパでよくお世話になります!」と口を揃えるこちらは、富士宮焼きそばやベキテバ(手羽先の北京ダック風)など、独特のメニュー展開。宴会は学生なら飲み放題付きで3000円~。懐かしのホッピーもあってお父さん世代にも大うけです。

☎095-842-5656 無休
営17時~深0時



このじゃがいもが旨いんです!